

壬 生 町 商 工 会

青年部

絆 KIZUNA

MIBU YOUNG MAN

壬生町商工会青年部は健全な地域社会づくりに貢献します。

発行責任者 荒川 清

編集責任者 篠原 弘樹

製 作 菅野デザイン企画

壬生町商工会青年部

壬生町大師町3番13号

TEL 0282-82-0475

FAX 0282-82-0354

発行No.001



巻けたっ! できたっ!



初めての企画、かんぴょう  
長巻き大会。巻けた瞬間、  
会場に大きな歓声が上がった。

第4回壬生町蘭学通り祭りにて青年部は、かん  
ぴょうの長巻き大会を企画して参加し、午前と  
午後のそれぞれ一回ずつ二回行われました。参  
加者は300人を超える大盛況でした。



清水町長も一緒に巻きました。

祝! 刊行

青年部 部長あいさつ



青年部 部長 荒川 清

(有)荒川自動車起業  
壬生町藤井2298-2

新年明けましておめでとうございます。私が部長の荒川です。この度青年部報を刊行するにあたり我々青年部が日頃どのような活動をしているのかを壬生町内の皆様方への御報告の意味も含め、発行させていただきました。部員達がペンを取り記事を書きましたので、お目通し頂けましたら幸いです。私は今回、青年部活動で体験した感想や理想を述べたいと思います。副部長を3年経験しそして 部長をおおせつかり 早や3年目も終盤にさしかかって来ました。最初は会議や集まりが多いので嫌だな~と思っていた、そんな気持ちで青年部の理事会をしても、理事には伝わりませんでした。その時に、自分が変わりリーダーシップを取らなければいけないと思いゴミ拾いやイベント事も一生懸命してるうちに、1人、また1人と賛同者が増え部員間での絆も強まって来たと思います。個人ではなかなか出来ない事が青年部に属する事により出来る事が多々有ります。それがチャリティーや献血や人の為に汗がかける人間に変わる事です。青年部を卒業し各地域に帰った時リーダーの人間を作るのが、青年部が存在する意味ではないでしょうか。両副部長には部員以上に高いハードルを設定しましたが、頭と体を使いながらクリアしてくれたと思います。青年部員並びに事務局には深く感謝し挨拶と致します。



# 壬生町総合産業まつり

肌寒い曇り空の中、10月29日第23回産業まつりが壬生町総合公園にて開催されました。盛大に行われる会場の中、我が青年部はチャリティーのキックターゲット 唐揚げ ポテトフライと飲み物販売をいたしました。

特にチャリティー企画のキックターゲットにおいては今年で二回目になり、毎年壬生町へ寄付を行っております。この企画は毎年大盛況で沢山の子供たちの参加に賑わいを見せています。今回の開催に伴ないご協力を頂いた皆様に部員一同、感謝をいたしております。部員全員が心地よい汗を流したあと、これからもより層のチャリティー活動に意欲的な参加をと、声高らかに無事終了いたしました。

チャリティーには義援金への関心の高まりから、多くの収益を得て、壬生町への寄付として今回は65,364円集まりました。この場をお借りして御報告させていただきますと同時に、御礼を申し上げます。(H M)



壬生町役場町長室にて。清水町長へキックターゲット収益金の全額を手渡しして町に寄付いたしました。金額は65,364円でした。



## 壬生町蘭学通り祭り

今年で第4回を迎える壬生町蘭学通り祭り。「さてみんな、今年は何をやるのか？」荒川部長は会議で役員達に聞いた。昨年は献血車を呼んでたくさんの方の協力を頂いた。「今年は何と大きなことをやりたいな。部長の言葉にはそういう含みを持っていた。

そこで提案されたのが「かんびよつ長巻き大会」だった。地元名産でありながら今まで一度も行われていたことがなかった。この提案は全員一致で可決され、今年が町制50周年と商工会設立45周年なので50mと45mの二本立てで行うことも決まった。ノウハウもない状態でも立てて行くことも決まった。ノウハウもない状態でも大きな企画が実行できるものかと心配もしたが、西方町と、滋賀県水口町(現甲賀市)の協力を得られ、すぐに具体的な企画をたてる事が出来た。

まずは5mを試しに巻いてみようかと商工会二階で試作会が行われた。不慣れな手つきでやってみると意外に楽しく、巻き上がると感動した。会議室に歓声が上がった。これは是非大勢の皆さんにも体験して欲しいと感じた。部員たちの土気も上がってきた。この試作で材料の分量も段取りも分かり、早速本番の準備に入った。

そして当日、予想を大きく上回る参加希望者に受付も驚いた。午前中、回目が始まった。部員達が指揮を執るが、初めての本番であり、なかなか段取りどおりには進まない。司会者もアドリブで頑張る。それでも部員誰もが楽しくやろうと決めていた。巻き上がってみると「おおー」「パチパチ」大歓声と拍手が沸き上がった。大成功だ！二回目も順調に終了し来場者にも大変喜んでいただけました。人手が足りないかと心配だったが、青年部員が団結し一丸となり大変良い経験となった。(H S)



会議室で5mののり巻きを真剣に試し巻きする部員たち。

## 企業 コマーシャル

### 日向野石材店

壬生町中央町7-11  
0282(83)0437

壬生小学校通りで、百年余り続く石材店の四代目として、代表取締役になりました日向野博史(ひがのひろふみ)です。墓石工事を中心に、代々築き上げてきた信用と技術を受け継ぎながらも、お客様のニーズに合わせて、時代にあった石材店のあり方を日々模索しております。代表として日が浅く、青年部の皆様の貴重な意見を伺わせたいので、今後の事業に役立てたいと思っておりますので、ご指導、ご鞭撻くださいますよう、よろしくお願い致します。お客様の要望に沿えますよう努力いたしますので、まずはお問い合わせ下さい。



## 青年部に入部して。早乙女 英敏

私が壬生町商工会青年部へ先輩の方々のお誘いを受け、入部して早十年になりました。が、私の生まれ育ったこの町に様々なイベントが多くあることも知らず、入部するまでは地元のことを楽しむことも出来ませんでした。

しかし青年部の入部を機に、諸先輩の指導を受けながらスポーツに親睦行事に、友情の輪が広がりました。毎年秋に催す産業祭への参加、その中でマスのつかみ取りとキックターゲットも成功のうちに終了したことや、野球大会において優秀な結果を残すことも出来ました。近年、町の代表行事になった蘭学通りまつりの参加に際しては何度も会議を重ね、準備をしました。この祭りに参加した多くの老若男女、つになって作った、あの長いかんびよ巻きには、全員が感動し充実感、達成感を分かち合うことが出来ました。

これから違う角度からも行事に参加することにより、青年部の益々の発展と町への協力が出てくるよう、残り数年の部員活動を頑張っていこうと思っております。

# 関東ブロック商工会青年部野球交流試合 2年連続! 関東大会出場!



激戦区の予選を突破したナイン

去る11月23日の勤労感謝の日、私たち商工会青年部は茨城県ひたちなか市宮球場にて行われた商工会青年部関東ブロック親善野球大会に参加してきました。この大会には昨年から出場参加をしまして、昨年はなんと千葉マリンスターズAMで行われたこの大会で「準優勝」をしたんです! 惜しくも決勝戦で千葉県代表に2対1でサヨナラ負けをしてしまいました。初出場でのこの成績で部員達は、「今度こそは☆」と意気揚々で今年度の県予選に挑みました。参加8チームでの予選を持ち前のチームワークで決勝戦まで順当に勝ち抜き、そして上三川町商工会チームとの決勝戦を延長の末サヨナラ勝利! その勢いのまま関東大会に挑みましたが、準決勝で群馬県中之条町商工会チームに1対0で負けてしまいました。異業種の若手経営者の集まりである我々が「致団結して何かをする」という意味でも非常に有意義なことですので、来年もぜひ、参加したいと思っています。壬生町の名を世に広めるためにも「ガンバリマッス」(Shim)



## ファミリーボウリング大会

7月23日、青年部恒例ファミリーボウリング大会が栃木市のサンプラザボウルで開催されました。このイベントは平日頃青年部活動に陰ながら協力して頂いている部員の奥様、お子様たちに楽しんで頂くこと、毎年行っています。参加した子供たちには毎回全員に景品が配られており、今年も子供たちにはとても喜んでいました。また、部員の家族同士の交流の場にもなっているんです。部員たちは日頃、会議や福祉活動等で休日を返上する機会が多いので、一般的なパパたちよりも、家族サービスする機会が少ないかもしれません。このイベントはこれからもずっと続けてほしいと願う当記事担当書であります。(Sun-Em)



**編集スタッフ**  
 荒川清 日向野博史 清水和之  
 巻島秀光 鈴木仁 早乙女英敏  
 篠原弘樹 菅野真一

## 壬生ふるさとまつり

8月20日、壬生町総合公園陸上競技場にてふるさとまつりが開かれました。我々青年部は例年、出店をして参加協力しています。出店内容は、鉄板焼きイカ入やきそば、特賞が旅行券の輪投げ、ビールやジュースなどの飲み物の販売です。数ヶ月前より会議を重ね、それぞれの部員が得意分野を担当し、入念な計画を立て準備した甲斐あって、チームワークの良い作業が出来ました。その結果、やきそば、飲み物はすべて完売、輪投げは景品が足りなくなるほどの大盛況に終わることができました。

ふるさとまつりを締め括る花火が夜空を彩るなか、成功を祝う手締めとともに、さらに絆の深まる我々壬生町商工会青年部でした。(JIN)



味に定評のある焼きソバと輪投げの青年部の出店。子供たちに人気のある輪投げの特賞はサイパン旅行で 大人の人も長蛇の列を作り盛況

## 編集後記

皆さんは「栃木SC」というサッカーチームを知っていますか? 地元栃木県のチームで、JFL(日本フットボールリーグ)に所属しています。今年度は成績も良くJリーグも誕生した事もあり、新聞の栃木版などでも取り上げられたので、ご存知の方も多いと思います。彼らはプロ契約ではないので昼間は私達と同じように働き、夜間に恵まれているとは言えない環境で練習に励んでいます。

3年程前から試合を観に行っていますが、相手チームのラフプレーにも乗せられることない冷静でフェアな姿勢と、最後まであきらめずライン際のボールを追うフアイト溢れるプレーには毎回感動させられます。だから例え負けてもまた応援に行きたいくなります。

私達も青年部としてはもちろんのこと、個々の企業としてもお客様に感動してもらえようという仕事をしなければなりません。今日この頃です。(SK)

造園・土木・緑化工事

# 有限会社橋本造園

TEL:0282-82-2264

有限会社 一般土木建築設計施工  
コンクリート解体・葺土工事

# 小田垣工業

TEL:0282-82-0437

※当部報のスポンサーは当青年部のOBであり 広告料を頂いた上で掲載しております。